



# 国労せんだい

## こくろうせんだい FAX版

号 外  
2011年4月2日  
発責 橋本 昭二  
編責 武田 昌仙

### 東北地方太平洋沖地震

# 仙台運協が勤務状況を調査する

## アンケート回答結果

国労仙台地方運輸協議会は、東北・関東大震災後の職場の勤務の取扱いや会社の動向その他についてのアンケートを実施した。

同協議会では、調査結果を参考にし、今後の運動等に活用する考えだ。（調査については、震災後で、職場や分会が混乱中など、一部連絡が取れない駅や運輸区があった）

### アンケートの設問

勤務状況および4月勤務指定

列車運行状況

会社動向および勤務上の問題

福島原発関連

その他

なお、3月29日現在の集約結果であり、列車運行状況等は当時までの状況であることに留意。

### 仙台駅

26日まで出札・改札あわせ、日勤2・泊り2の必要最小限で、通勤可能者で対応。他は自宅待機。28日仙石線が始発から運転再開のため27日からは、泊まり勤務を取り入れ回す。

28日から仙石線あおば通り、小鶴新田間運転再開。31日仙台、岩切間運転再開。4月2日仙台岩沼間運転再開。4月はじめに他線区も運転再開を目指している。

遠距離通勤、郡山からのモニター通勤者問題は「勤務は罹災なのか？」

### 名取駅

2日運転再開確定していることから4月勤務は通常泊まり勤務明示。

3月勤務を泊まりから日勤に変更。ガソリン入手困難の状況から3月通

大原原駅  
分会中間駅は集約中。

郡山信号所は基本5徹で、25日から2徹、28日から3徹、30日から4徹予定。自転車や家用車で通勤。会津若松地区は列車通勤開始。

4月勤務指定は所定に明示。

### 古川駅

震災から自宅待機。小牛田・石巻各班の情報取れない。

### 郡山駅

磐西が運転再開。徐々に東北本線・磐東線の一部が再開。郡山駅みどりの窓口が再開、駅ビルのピボットも営業再開。

### 郡山駅信号所

磐東沿線の分会員は若松の親戚に一時避難。母親が病気で郡山に入院など。屋内退避区域の分会員がえきねっと班に1名。野菜・水道水に放射能汚染の報道があり心配。磐東沿線の分会員情報収集しているが、自宅待機のため困難。

郡山信号所

自宅待機（所定出勤時間、退勤時間に当直へ電話）4月の勤務、基本組、予備組共に出勤予備指定（A・S・Eの組合せ）

震災から自宅待機。小牛田・石巻各班の情報取れない。

### 仙台運輸区

震災から自宅待機。小牛田・石巻各班の情報取れない。

### 古川駅

震災から自宅待機。小牛田・石巻各班の情報取れない。

### 郡山駅

磐西が運転再開。徐々に東北本線・磐東線の一部が再開。郡山駅みどりの窓口が再開、駅ビルのピボットも営業再開。

郡山信号所

家族が栃木県今市に避難。仙台南幹線運輸区の福島在住の車掌が、福島総合運輸区の兼務発令がされた模様。

**宮城野運輸区**

初電から終電まで運転士・車掌は日勤行路5、泊行路5で対応。他は、被災社員3名以外9時～16時10分の出勤準備。

4月勤務は車掌、運転士とも全員予備指定。10日まで決定。上下65本運転。車で出勤した人にはガソリン代支払う。

しかし、ガソリン給油は何時間も待ち、自宅待機にしてほしい声も。

28日、仙石線あおば通り 小鶴新田間で運転再開。

**郡山運輸区**

4月は運転士・車掌全員予備組・予備4対応

9:05～16:05 磐越西線は再開。東北本線は3月29日郡山 本宮間再開、全列車運転。

磐越東線は3月31日郡山 船引間再開。

磐越西線は泊まり2行路。本線は日勤1・泊まり

り2。磐越東線は詳細不明。仙台市および福島市からの通勤者は自宅予備(予備4)。えきねっと(関連会社東北総合サービス・出向)は福島からは高速バスで通勤。

運輸再開区間の行路が不明。勤務がわからず予定が立たず。地元や通勤出来る乗務員で乗務、負担が大きい。

福島運輸区に仙台南幹線運輸区から福島出身通勤者の助勤または兼務の話し。

磐越東線からの通勤者の対応はどうなるか。新町まで運転させたい、大丈夫か?。いわき運輸区は閉鎖状態。

仙台南幹線が新幹線より先に在来線再開したら通勤させるのか。

自宅予備者の出勤・退勤の確認の電話代は出ないのか。

**会津若松運輸区**

待機のため不明。26日より磐西は運転再開するも一部運休。郡山から新津まで全線開通。

只見線は全線運休。只見線は全線運休。

勤務は、全員自宅待機で指定。行路の始業時と終業時に、会社に確認の電話。電話代については

聞いていない。

放射線の測定値の報道は心配。原発から半径80から90キロ程度。微量であるが検出されている。

市内には、避難されてきたみなさんが体育館などに退避しており、まるで映画のよう。現実であり、これまでの東京電力や政府の「絶対安全」に怒り。

本部・地本の活動はインターネット等で毎日見ており感謝。

**小牛田運輸区**

徒歩・自転車通勤可能者は出勤準備で9:00～16:10。列車および自動車通勤者は自宅予備(9:00～16:10)

4月勤務指定は災害時の勤務とし、全て予備の勤務指定。会社は一旦指定した勤務・休日についても変更可能(16項目適用)とし呼び出しもあり得ると。

陸羽東線小牛田～新庄 4月2日に安全確認列車走行、3日より本運転予定。東北本線は、仙台岩切 松島 小牛田 一

関と段階的な復旧情報。石巻・気仙沼線は再開目処立たず。

次勤務確認では電話料

金会社負担求める。会社から一回だけ電話

女川原発が近い。余震続いており、運転再開後も乗務員に対する緊急停止手配や津波情報およびお客誘導、避難指示(ハザードマップ見直し)が完全に伝達される

システムの再構築を求め職場復旧や運転再開(被災者の長期避難者含む)まで、長期に渡る事が予想される社員に対して転勤の噂が。組合差別の無い取扱いを求める。

**福島総合運輸区**

地震発生以降は自宅待機。3月交番発表の勤務で出・退勤の時間で電話確認。4月勤務指定に関しては確認出来ず。

受け持ち線区は、奥羽線・福島 米沢 4月上旬見込み、東北線・郡山 島 4月再開目途、福島 仙台は未確認。

その他の項目は、自宅待機のため情報共有出来ず。

**福田町駅**

震災により事務室内散乱機能しない状態のため、管理駅の陸前原ノ町駅に出勤。不慣れな職場のた

め神経使う。多賀城・本塩釜等の各管理駅も大きな被害を受けたと聞く。仙石全線の復旧まで時間を要する。

4月も当面は管理駅勤務。あおば通り 小鶴新田間で運転再開。以遠は4月か。

管理駅自体も復旧に時間要した。列車運転復旧(設備等の復旧作業)と駅業務再開(駅社員のみ)の片付け作業)とが同時並行で尽力されている。

だが駅関係の人手が足りない。駅は一人勤務のため通常の業務自体苦慮しているが、運転再開後の復旧作業も一人、助役も大変な苦労を強いられる。地区のサポートセンターから応援がある

も、業務に精通でなく目だつた改善はない。

原発は女川が近い。福島がやられて、女川は偶然大丈夫だったのか詳細不明。不安はある。

仙石線の福田町駅と陸前赤井駅が、4月から業務委託駅にされる予定であつたが震災の影響でどうなるか不明。エルダー予定先輩組合員も、勤務中津波に襲われ、九死に一生を得た。

仙石線の復旧と合わせ、エルダー再就職先の配属

については、支社の弾力的な対応を求めたい。

**今後の運転計画**

【4月1日現在】

東北本線	黒磯 安積永盛	4月中旬	
	安積永盛 郡山	4月2日	
	本宮 福島	4月5日	
	福島 岩沼	4月7日予定	
	岩沼 仙台	4月2日	
	岩切 松島	4月5日	
	松島 小牛田	4月上旬	
	小牛田 花泉	4月中旬	
	岩切 利府	4月5日	
常磐線	岩沼 亘理	4月中旬	
仙山線	仙台 愛子	4月4日	
	愛子 山寺	4月中旬	
仙石線	小鶴新田 東塩釜	4月中旬	
	石巻線	前谷地	4月中旬
	小牛田	4月中旬	
磐越東線	船引 小野新町	4月中旬	
	只見線	川口	4月上旬
	坂下	4月上旬	
	陸羽東線	新庄	4月3日
	小牛田	4月3日	
	水郡線(参考)		
	常陸青柳 安積永盛	4月中旬	